

平成 28 年度広島県計画に関する 事後評価

令和 2 年 1 月
広島県

3 - 1 . 事業の実施状況（医療分）

平成28年度広島県計画に規定した事業（医療分）について、平成30年度終了時における事業の実施状況を記載。

平成28年度広島県計画に規定した事業（医療分）について、平成30年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業																
事業名	【No.3（医療分）】 病床機能分化・連携促進基盤整備事業	【総事業費】 13,765 千円															
事業の対象となる区域	全区域																
事業の実施主体	病院及び有床診療所																
事業の期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / 終了																
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想の実現に向けて、医療機関における病床機能分化の自主的な取組を推進する必要がある。</p> <p>アウトカム指標： ・平成 37 年に必要となる医療機能ごとの病床数（暫定推計値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現状(H29)</th> <th>必要病床数(H37)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>4,815 床</td> <td>2,989 床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>12,939 床</td> <td>9,118 床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>4,265 床</td> <td>9,747 床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>9,128 床</td> <td>6,760 床以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成 30 年度基金を活用して整備を行う不足している病床機能毎（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）の病床数</p>		区分	現状(H29)	必要病床数(H37)	高度急性期	4,815 床	2,989 床	急性期	12,939 床	9,118 床	回復期	4,265 床	9,747 床	慢性期	9,128 床	6,760 床以上
区分	現状(H29)	必要病床数(H37)															
高度急性期	4,815 床	2,989 床															
急性期	12,939 床	9,118 床															
回復期	4,265 床	9,747 床															
慢性期	9,128 床	6,760 床以上															
事業の内容（当初計画）	回復期病床への転換に係る施設・設備整備に対して補助を行う。																
アウトプット指標（当初の目標値）	対象医療機関数 5 施設																
アウトプット指標（達成値）	対象医療機関数 2 施設 急性期 13 床 回復期 13 床 慢性期 114 床 回復期 114 床																
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後 1 年以内のアウトカム指標： 平成 37 年度に必要となる医療機能ごとの病床数（暫定推計値） 観察できなかった 観察できた 指標：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29 病床機能報告数</th> <th>H30 病床機能報告数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>4,815 床</td> <td>4,290 床</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>12,939 床</td> <td>13,249 床</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>4,265 床</td> <td>4,952 床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>9,128 床</td> <td>9,767 床</td> </tr> </tbody> </table> <p>（1）事業の有効性 病床の機能分化・連携を促進するため、不足が見込まれる「回復期病床」への転換等に際して必要となる施設・設備整備費に対して補助</p>		区分	H29 病床機能報告数	H30 病床機能報告数	高度急性期	4,815 床	4,290 床	急性期	12,939 床	13,249 床	回復期	4,265 床	4,952 床	慢性期	9,128 床	9,767 床
区分	H29 病床機能報告数	H30 病床機能報告数															
高度急性期	4,815 床	4,290 床															
急性期	12,939 床	13,249 床															
回復期	4,265 床	4,952 床															
慢性期	9,128 床	9,767 床															

	<p>を行うことにより，医療機関における病床転換の取組を支援することが出来た。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>補助金を活用する医療機関においては，見積合わせや一般競争入札を行うなどし，効率的な事業の実施に取り組んでいる。</p>
その他	平成 30 年度：5,910 千円